

# 求められる水の情報開示

国連グローバル・コンパクトから派生したCEOレベルの企業間同盟「CEOウォーター・マンデート」は2012年8月、コーポレート・ウォーター・ディスクロージャー・ガイドラインを発表した。水に関する情報開示を共通化する企業向けの最初のアプローチで、フレームワークを提供することで、より包括的に、より簡潔に実務で実施することを促す。

CEOウォーター・マンデートは、企業における持続可能な水資源管理のベストプラクティスにより推進することを目的に2007年に設立され、現在85社が加盟、企業数は年々増加してきている。

企業が水の情報開示に関心を寄せる背景には、英国のNGOであるCDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)の影響もある。CDPは、CO<sub>2</sub>の排出量に関する情報

CO<sub>2</sub>を企業に求めるとともに、気候変動が降水量を変化させ、水資源にも影響を及ぼすとして、近年、水に関する情報開示を企業に求め、その数を拡大している。

2012年3月には、食糧需要の増加と気候変動によって世界各地で水不足が発生し、年々深刻化していると国連「世界水発展報告書」でも伝えていいる。地域による水資源の不均衡は、企業の生産活動やサービスの提供にも影響を及ぼす恐れがあり、水を企業がどのように管理するかが、世界的に大変重要な位置付けになってきている。今や水の問題は企業リスクとして経営に関係する問題なのだ。

しもたや・たけし CSRコンサルタント。欧州と日本のCSRの懸け橋となるべく2010年サステイナビリティをロンドンに設立、代表取締役。英国イースタングリア大学環境科学修士、ランカスター大学MBA。

CO<sub>2</sub>の排出量に関する情報



## サステナビリティ(CSR)プラクティショナー資格講習

第5回目 開催決定!!  
開催地：東京

この資格講習は、英国の主要団体であるIEMA(The Institute of Environmental Management and Assessment)の公認の資格であり、世界で通用するCSR資格です。本資格講習は世界各地(シカゴ、ワシントン、ニューヨーク、ブリュッセル、ドバイ、アブダビ、アテネ、クアラルンプール、東京、大阪)で既に実施されており、世界5大陸で現在約400人の資格保持者がいます。本資格を取得することにより、組織内外でのCSR計画・戦略・プログラムをより効果的に実施することができるようになります。CSRスキルアップ・キャリアアップに活用することができます。



第1回目：東京開催の様子

### レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた2日間の集中プログラム

- サステナビリティ・CSR・持続可能な開発
- CSRと気候変動の世界のトレンドと関連法規
- ステイクホルダーアプローチとトリプルボトムライン
- カーボンフットプリント戦略
- グリーン&コーズリレーテッドマーケティング
- サステナビリティ・CSR戦略と報告書作成
- 国際基準(国連グローバルコンパクト・ISO26000等)

◆ 日程 ◆ 2013年2月21日(木)・22日(金) ◆ 場所 ◆ 東京 ◆ 定員 ◆ 20名 (定員になり次第締め切りとさせていただきます。)



講師 サステナビジョン 下田屋 毅



ゲスト CSE ニコス・アヴロナス

サステナビジョンは、英国の主要団体 IEMA 公認トレーニング団体である。Centre for Sustainability and Excellence (CSE) と戦略的パートナーシップを締結。IEMA 公認資格である「サステナビリティ(CSR)プラクティショナー資格講習」を日本で開催しています。

お問い合わせ・申し込みはウェブサイトから [www.sustainavisionltd.com](http://www.sustainavisionltd.com)



サステナビジョン  
在英日本商工会議所会員企業

Web : [www.sustainavisionltd.com/](http://www.sustainavisionltd.com/) E-mail : [info@jps@sustainavisionltd.com](mailto:info@jps@sustainavisionltd.com)

携帯からもウェブを  
ご覧頂けます!

